



呼吸器外科臨床医からみた研究

※齊藤先生にはWebツール (Zoom) を使用し
所属先からご講演いただきます。
Web参加をご希望の方は教学課 (大学院担当) 迄
所属・氏名・接続案内先のメールアドレスを
お知らせ願います



齊藤 元 先生

岩手医科大学 医学部 呼吸器外科学講座 教授

【ご略歴】

1991年秋田大学医学部卒業, 同第2外科 (現 胸部外科学講座) 入局
由利組合総合病院, 公立角館総合病院, 総合南東北病院を経て
1994年秋田大学医学部附属病院 医員, 1994年医学博士取得
ハーバード大学公衆衛生学生理学教室 博士研究員
2000年秋田大学医学部附属病院呼吸器外科 助手
2003年 同講師, 2013年秋田大学医学部胸部外科学講座 准教授
2018年岩手医科大学医学部呼吸器外科学講座 教授 (現職)

【資格】

日本外科学会専門医制度 外科専門医・指導医
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医
日本がん治療認定医機構 認定医, 日本胸部外科学会 認定医
DaVinci system certificate as a console surgeon

【学会活動】

日本外科学会 代議員, 日本呼吸器外科学会 評議員, 日本肺癌学会 評議員
日本胸部外科学会 評議員

【研究テーマ】

肺癌の診断と集学的治療, 急性肺障害, 癌温熱療法

【講演概要】

20世紀中頃から社会・生活環境の変化とともに, 日本人における死亡原因の上位は炎症性疾患から悪性新生物にとってかわった。呼吸器外科領域でもその治療対象は, 抗酸菌など炎症性疾患への外科治療から腫瘍性病変に対する外科治療に大きく変遷した。世界初の肺がん手術成功から約90年経過した現在, 腫瘍学のみならず術後合併症の低減など治療成績の向上という最終ゴールを目指し, 実臨床および関連研究分野での継続した努力がなされている。

研究には基礎研究, 応用研究, 開発研究などがあるが, 本セミナーでは, 呼吸器外科を専門とする臨床医が思い描く先進的な研究について, 演者のこれまでの研究体験を中心に, 関連する話題, また臨床医の視点から臨床研究との関わり・その重要性について紹介する。

担当 金沢医科大学 医学部 呼吸器外科学 浦本 秀隆 教授

共催 北信がんプロ ※がんプロe-learning科目の演習対象となる講演会です

問い合わせ先 金沢医科大学教学課 (大学院医学研究科担当) d-gakuin@kanazawa-med.ac.jp